

千葉商大論叢

第49巻 第1号

武田米生先生、三橋規宏先生退職記念号

2011年9月

| | |
|--|------|
| 巻頭の辞 (Appreciating Contributions of Professor Yoneo Takeda) | 島田晴雄 |
| 巻頭の辞 (Appreciating Contributions of Professor Tadahiro Mitsuhashi) | 島田晴雄 |
| 武田米生先生のご定年退職によせて | 吉田靖彦 |
| 三橋規宏先生のご定年退職によせて | 藤江俊彦 |
| 武田米生先生略歴および業績 | |
| 三橋規宏先生略歴および業績 | |

論 説

| | |
|---|-------------------------|
| 現代中国社会の問題と課題 | 石山嘉英 (1) |
| 炭素税は研究開発活動を促進するか？ —スウェーデン紙パルプ産業のパネルデータによる分析— | 伊藤康 (15) |
| 財政の計量分析 | 小野塚芳雄 (25) |
| 階級境界線の下方移動と日本的経営 | 工藤剛治 (47) |
| 検定簿記の社会的役割と課題 —工業簿記の教育と学習— | 佐藤正雄 (65) |
| 江戸前期における生きた漢語の摂取に対する林家の姿勢 —寛文期を中心に— | 朱全安 (83) |
| 東京の古い産業集積地域におけるイノベーション | 鈴木孝男 (97) |
| 金融危機後、バーゼルⅢと会計基準が我が 国金融機関に求めていることについて | 平井友行 (121) |
| 日本経済のマクロ的信用リスクモデル | 吉田靖 (133) |
| 環境政策史研究確立に向けた一考察 | 平原隆史 (145) |
| EU会社法におけるアクションプランの実施 (1) | 松田和久 (159) |
| 金融市場のクラッシュのリスクを判断する尺度の検討 | 西山昇 (173) |
| The Simpler the Corporate Strategy, the Better the Financial Results —A Comparative Study of the Transformation of Corporate Strategy into Financial Results: Amazon.com and LAOX Ltd— | MIYAMASU, Hiroshi (185) |
| ブランド・コミュニティとの同一化の影響 —同一化に先行する要因と結果の再検討— | 宮澤薫 (201) |
| 金融商品会計に関する一考察 —公正価値測定と債券の分類を中心として— | 紺野卓 (221) |
| 民間企業の組織不祥事リスクに関する実態調査 | 樋口晴彦 (235) |

研究ノート

| | |
|--|------------|
| 階層制組織の欠陥と非階層組織の意義 —人間の自由と独立を求めた新たな発想— | 影山億一 (263) |
| 検定簿記と簿記教育 —入門簿記の意義と課題— | 小田徳仁 (283) |

その他

| | |
|--|------------|
| 国府台学会経済研究会 (第119回) 北米経済統合 (NAFTA) と域内国へのその諸影響 | 所康弘 (301) |
| IPO時の過小値付け現象とユニバーサルバンク ～ドイツの株式市場に関する分析から～ | 三田村智 (303) |

千葉商科大学国府台学会

(通巻168号)